

「渡ります」ははっきり伝える

「ハンド・サイン」

信号機のない場所で

手を上げて
はっきりと

体の前で
スマートに



道路を横断するときのお願い！

1 安全な横断場所を選ぶ

- ・ 信号機や横断歩道がある安全な場所を選んで渡りましょう。
- ・ 近くに信号機等がないときは、道路がよく見渡せる場所を探しましょう。



2 道路の端で立ち止まり ハンド・サインで意思表示 (てのひらで合図)

- ・ 横断前は道路の端で立ち止まるなどして、ドライバーに横断する意思を伝えましょう。
- ・ 右、左から車が近づいてこないか安全をよく確認しましょう。

- ※ 手を上げたり、ドライバーとアイコンタクトを行い、道路を渡りたい意思をしっかりと伝えましょう。
- ※ 軽く手を上げるだけでもドライバーに横断の意思が伝わります。



3 車両が止まってから 道路をまっすぐ渡る

- ・ 左右の車両が止まったことを確認してから横断しましょう。
- ・ 横断するときは、斜め横断はしないで、まっすぐに横断しましょう。

※ 横断するときは、手を上げたままでも、手を下げてもOK！



4 横断中も安全確認をする

- ・ 横断中も車両が近づいてこないか周囲の安全確認をしましょう。
- ・ 止まった車両にお辞儀などで感謝の気持ちを伝えましょう。

※ 横断中に車両が近づいたり、バイクや自転車がすり抜けてくるなどの危険を予測しながら横断しましょう。

※ 歩行者とドライバーがお互いを思いやり、横断事故を無くしましょう。

